

令和元年度事業報告

令和元年度の柔道整復学科の学生募集はわずかに良くなり、介護福祉学科の学生募集は留学生の入学によりかなり良くなってきた。令和2年度は留学生受入体制をさらに整備し学生を確保していきたい。

一方大川学園高等学校・大川学園高等専修学校はここ数年順調に推移しており、このまま継続できるように努力工夫していくことが重要である。

収益事業としての第一校舎跡地の貸し駐車場も、わずかではあるが、経営上は貢献している。

事業報告の詳細については、下記の通りとなる。

1. 法人本部

事業計画における目標として「選ばれる大川学園」を掲げたが、学生・生徒の募集ではある程度の改善を果たした。

令和元年度事業報告として

- ① デスクネッツ（学内情報共有ネットワーク）の更なる活用、さくら連絡網（学生、生徒、保護者とのスマホ連絡網）、マイクロソフトチームスの活用などが、施設・情報管理室の活躍で進んできた。
- ② 全教職員の研修として、埼玉種畜牧場・サイボクハム代表取締役、笹崎静雄社長による「サイボクハムの事業拡大と新たな分野への挑戦」をテーマに学園研修会を開催した。
- ③ IT教育の活用として、専門および高校における電子黒板の活用の活発化、タブレットの活用、無線LAN環境の整備を行った。
- ④ 教育支援推進室を設置し、留学生のアルバイト管理、入管手続、日本語教育及び施設の斡旋等を行った。
- ⑤ 広報室、教育支援推進室、施設・情報管理室と連携して広報活動、ホームページの管理等を推進した。

2. 大川学園高等学校・大川学園高等専修学校

重点目標「保護者の期待に応える学校づくり、生徒の『伸びしろ』が大きい学校づくり」を実現し、より多くの入学生確保につなげたいと考え、以下のように事業（新規◎継続○）を実施したので、新規事業を中心に報告する。

- ① どの生徒にも学ぶ喜びを実感させ、学力を着実につける。
 - ◎新たに「ジャンプ数学」「ジャンプ英語」を加えた「ステップアップ講座」
 - ◎普通科の月曜日に英語授業（教育課程外）を創設
 - ◎校長による「ゼロゼミ」の創設
 - ◎英語土曜特別講座「サタゼミ」の創設

- ◎他校の授業研究会への参加
- ◎目に見える成果→飯能プランニングコンテスト最優秀賞・優秀賞（システムデザイン・マネジメント受講生徒）、県介護技術コンテスト優良賞（専門学校の先生と連携指導）、ビジネス文書検定 2 級合格（2 年生）、普通科選択授業（フィットネス）におけるミュージカル教育 2 年目（ソニーミュージックとの連携）は学園祭で成果発表し表現力が大きく向上
- ② 深い生徒理解に基づく生徒指導を徹底し、進路実現をはかるとともに人格の完成を目指す。
 - ◎担任による道徳授業の実施
 - ◎道徳的価値を意識した行事づくり
 - ◎進路指導の改善→日本社会事業大学合格者、専門学校試験で特待生（学納金一部免除）に決定など成果あり
 - 登下校指導、服装・頭髪指導、遅刻指導の毎日実施
 - きめこまかな生徒指導
- ③ 地域等と連携し、開かれた学校づくりを進めるとともに安定した生徒募集を実現する。
 - ◎飯能新緑ツーデーマーチへの全校参加ほか、ボランティア活動の実践
 - ◎部活動における成果→全国定通大会(埼玉県チームの一員として女子ソフトテニス、女子剣道が優勝、男子剣道が準優勝)、軟式野球部が初めて県大会優勝
 - ◎学校ブログ「大川学園 NOW！」の開設
 - ◎募集・広報活動の工夫（学校説明会の工夫など）
 - ◎福祉系大学からの実習生受け入れ
 - ボランティア活動の継続
 - 駿河台大学との連携継続

3. 大川学園医療福祉専門学校

令和元年度は「地域における医療・介護に携わる一員として活躍できる人材育成」を理念に掲げ、学生指導、学生募集活動、附帯教育活動等に取り組んだ。令和元年度国家試験の現役合格率は柔道整復学科 90.9%、介護福祉学科 100%であり、両学科とも全国平均を上回る結果であった。

就職率も 100%と卒業生全員が就職した。また、令和元年度より、介護福祉学科に留学生を受け入れ、11名の留学生が入学した。学生指導等の報告は以下の通りである。

① 学生指導

国家試験合格率 100%を目指し、各学科とも国家試験対策として講座や補講を行った結果、一定の成果を得ることができた。就職指導においては、施設や企業の担当者を招き job カフェ、就職ガイダンスを開催した結果、卒業生全員が就職を果たした。また、留学生対象に日本語講師を雇用し、放課後に補習を実施した。その他、ボランティア活動やクラブ活動を実施した。

② 学生募集

年間通してオープンキャンパスの開催、高校訪問・治療院訪問・卒業生訪問・会場ガイダンス参加等を実施した。また、テーピング講習会・大川学園高校への出前授業及び内部進学講座を実施した。その結果、令和2年度の入学者数は、柔道整復学科24名、介護福祉学科40名（内留学生24名）、計64名となり前年度を上回った。

③ 運営管理

運営委員会、職員会議、自己評価委員会、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の開催、交通安全教室、避難訓練、校内研修会の実施、また年間通じ教職員及び学生へ健康面、安全面等の注意喚起を促した。3月には新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、卒業式を縮小して執り行い、予定されていたオープンキャンパスも中止した。

④ 地域貢献

芳愛接骨院の運営、学校施設（グラウンド・テニスコート・柔道場・教室等）の開放、飯能新緑ツーデーマーチ・高体連柔道大会・新極真空手道大会救護活動・市民健康祭り等への参加、飯能市・飯能警察署・飯能消防署との連携協力を行った。

⑤ 附帯教育活動

介護福祉士実習指導者講習会を開講した。

以上